

平成30年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

精度管理総括

佐藤 恵彦（関中央病院）



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

受付 6月1日～15日 JAMT-QC

試料発送 8月26日 岐阜市民病院

回答締め切り 9月11日

一次報告書 10月5日 C、D評価 41施設

生化学 免疫血清 一般 フォトサーベイ

二次サーベイ試料発送 10月中旬

参加希望施設 是正報告書提出

再入力期間 10月22日～23日

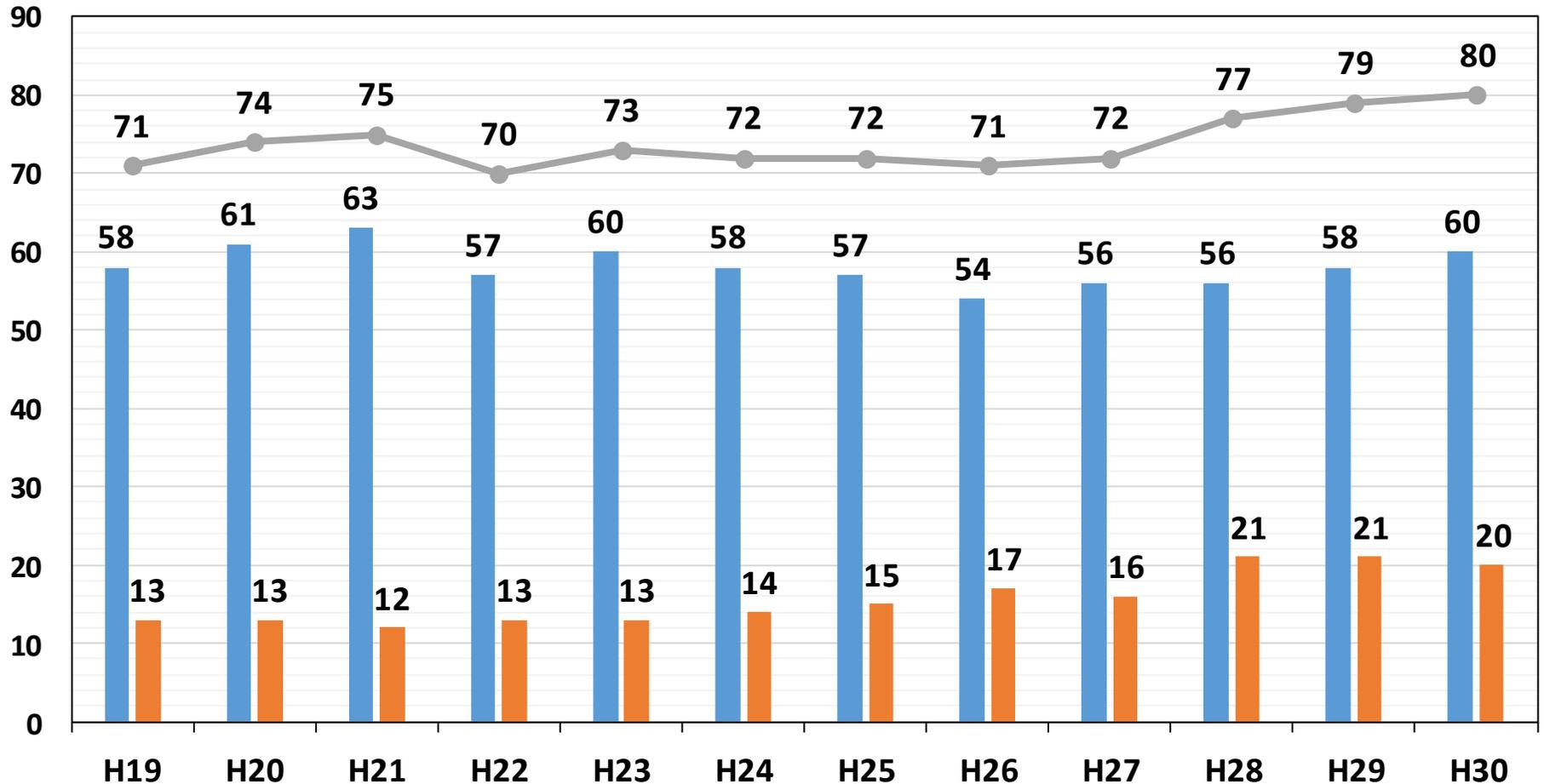
最終評価 11月8日

各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 参加施設数の推移

【前年比】 メーカー -1
医療施設 +2

■ 医療施設 ■ メーカー ● 合計



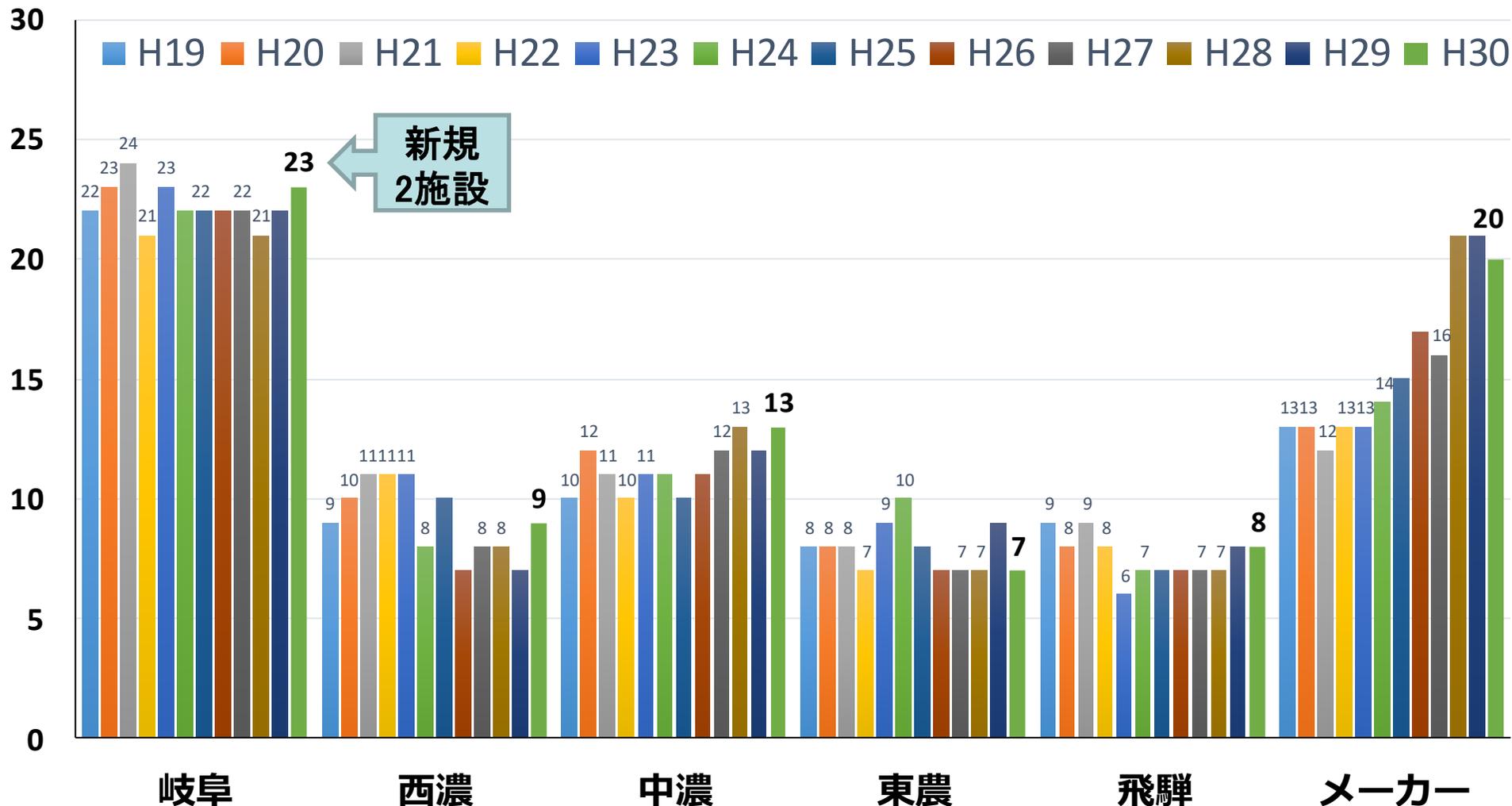
■ H30年度

新規参加 医療施設 = 2施設

- 岐阜地区 2施設

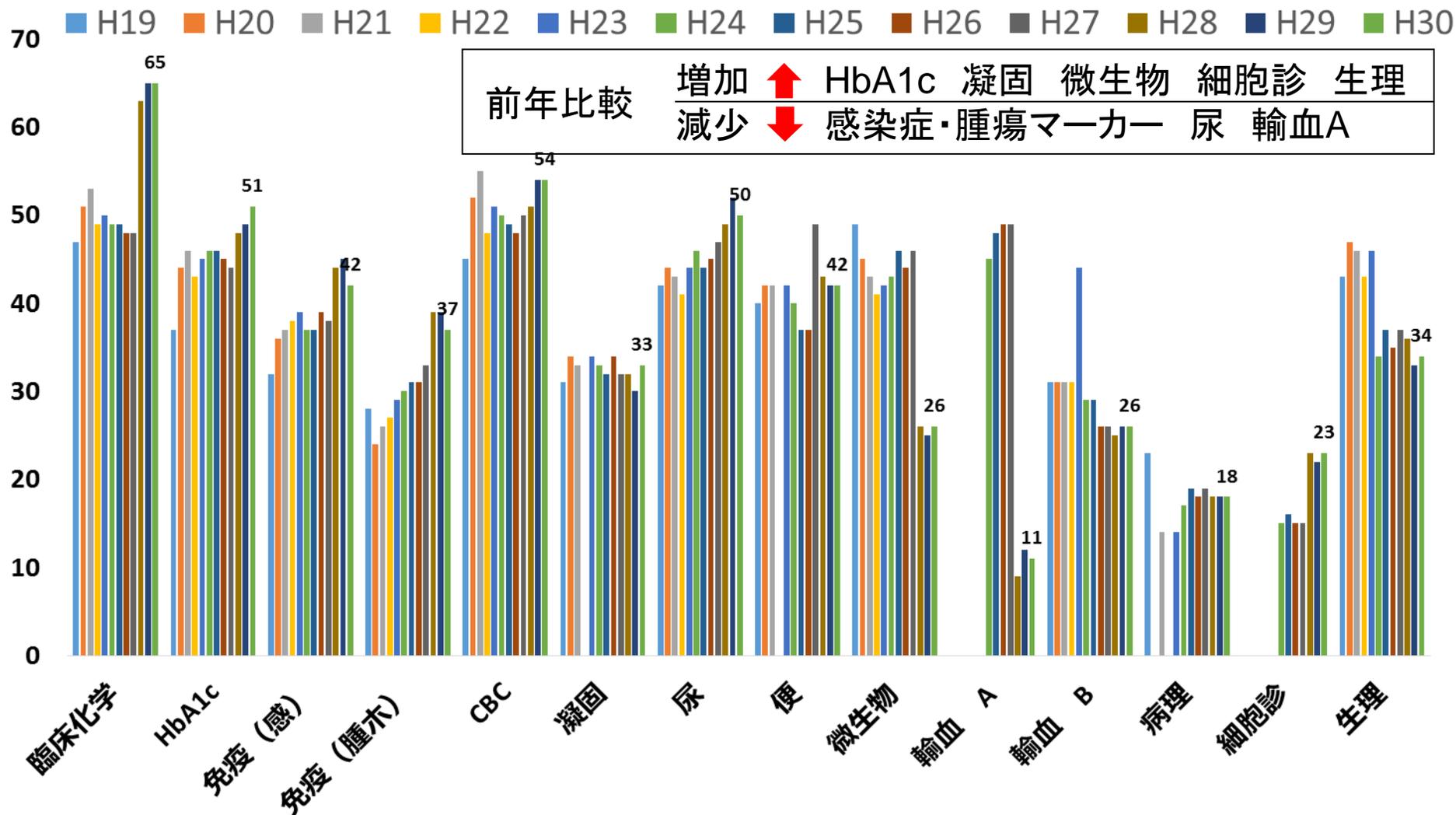
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 地区別参加施設数の推移



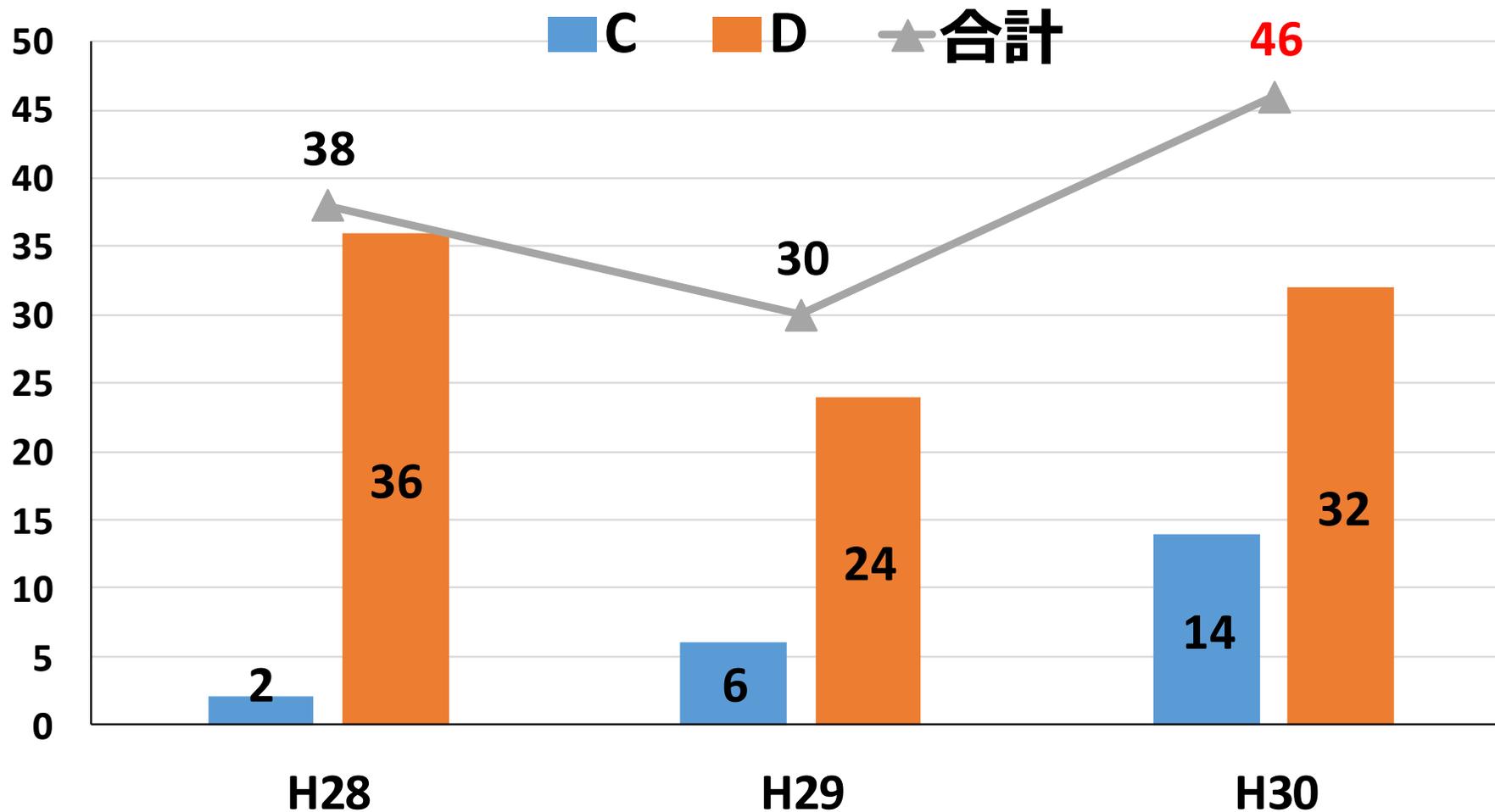
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 試料別参加項目の推移



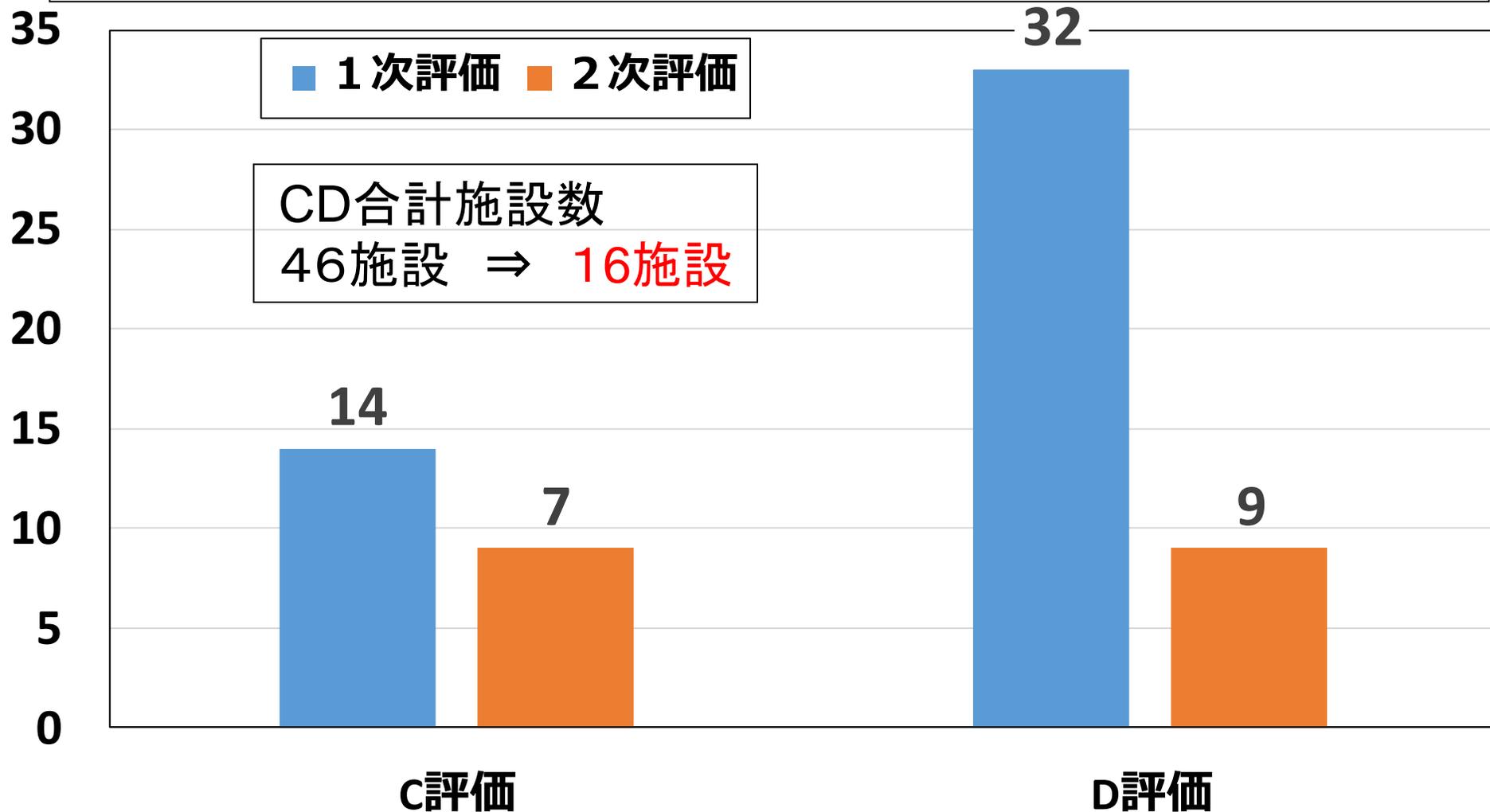
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 1次評価 C、D施設数の推移



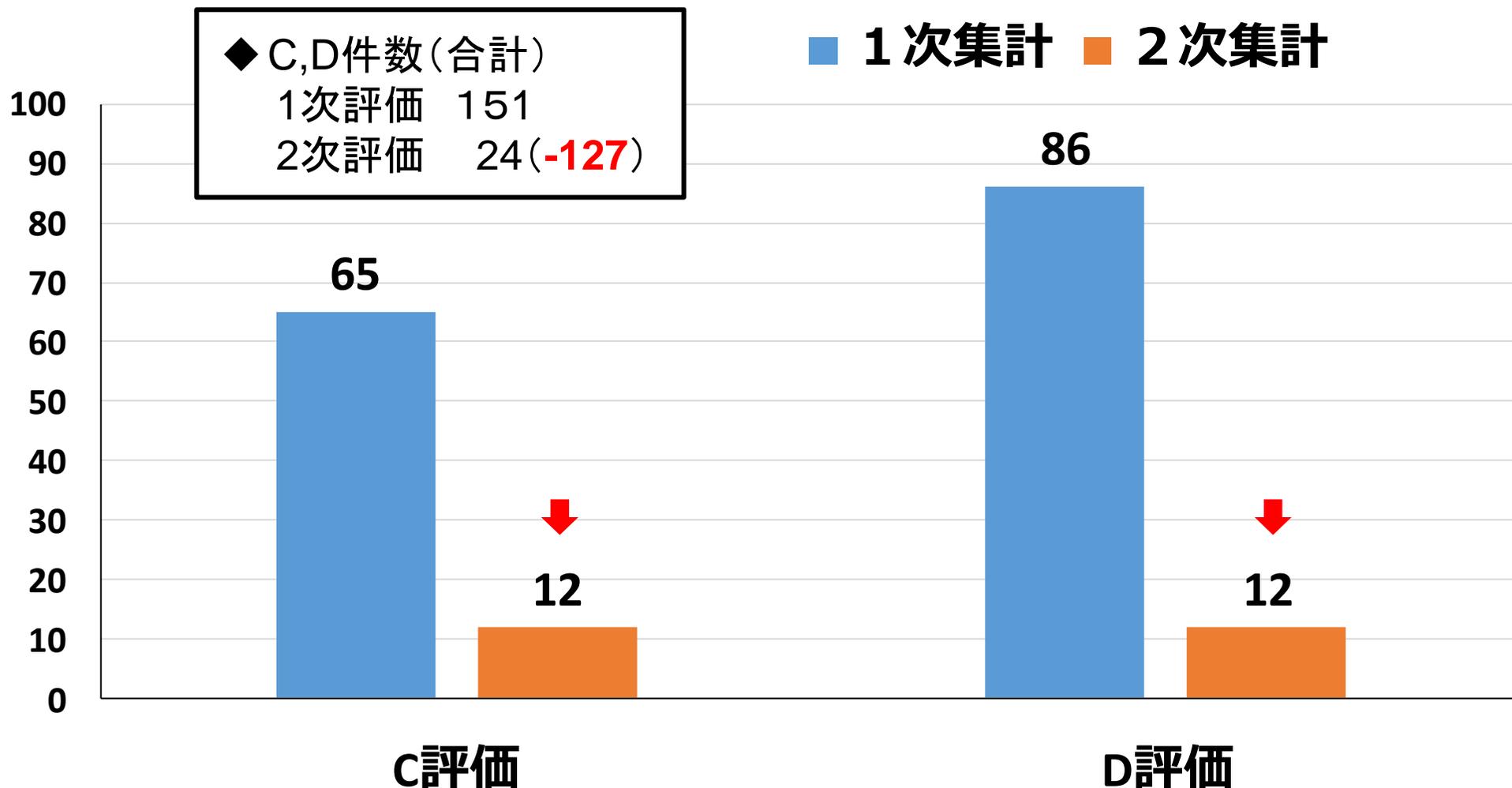
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 2次評価後のC、Dの施設数の推移



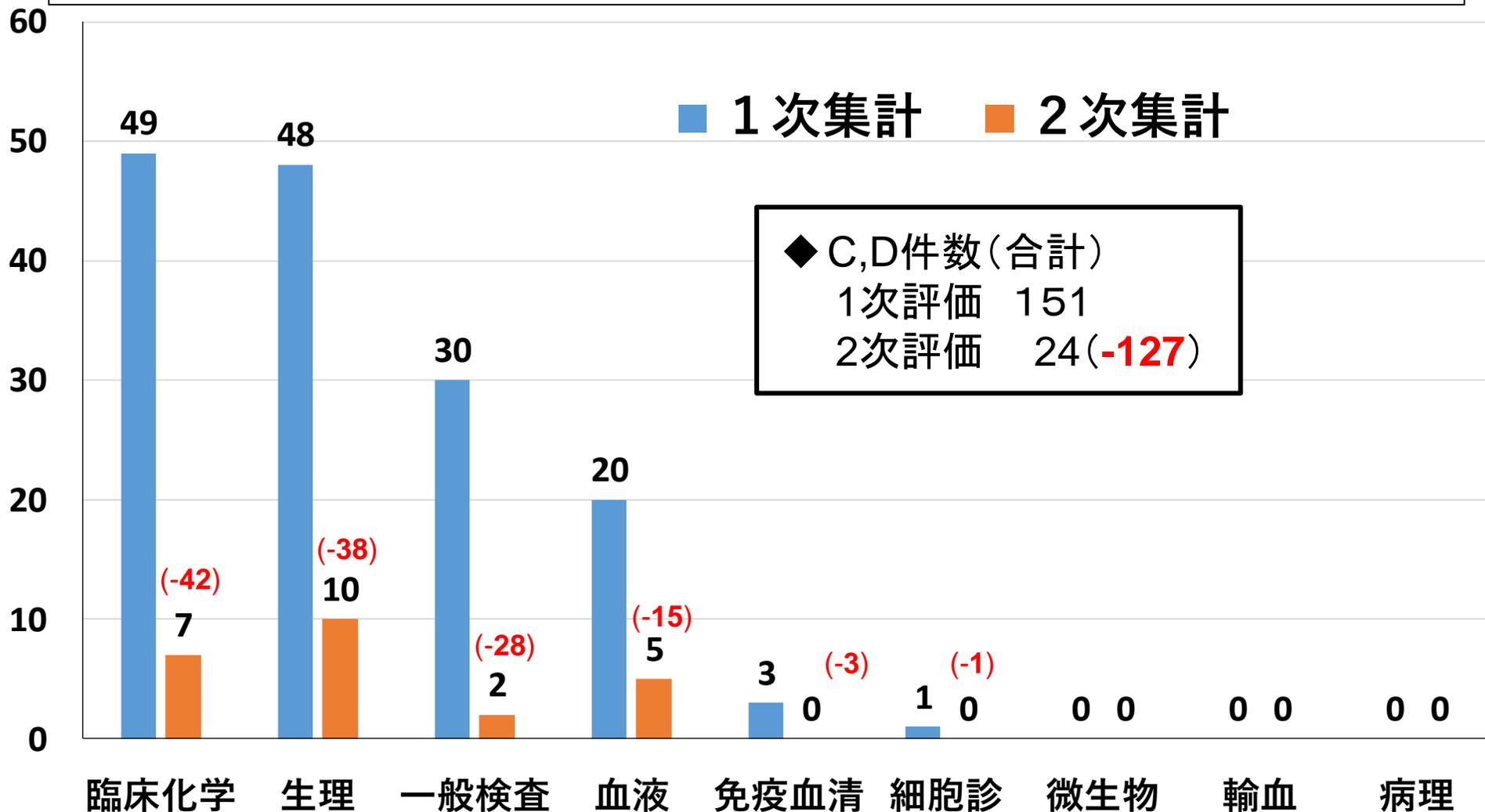
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 2次評価後のC、D評価数の推移(全項目)



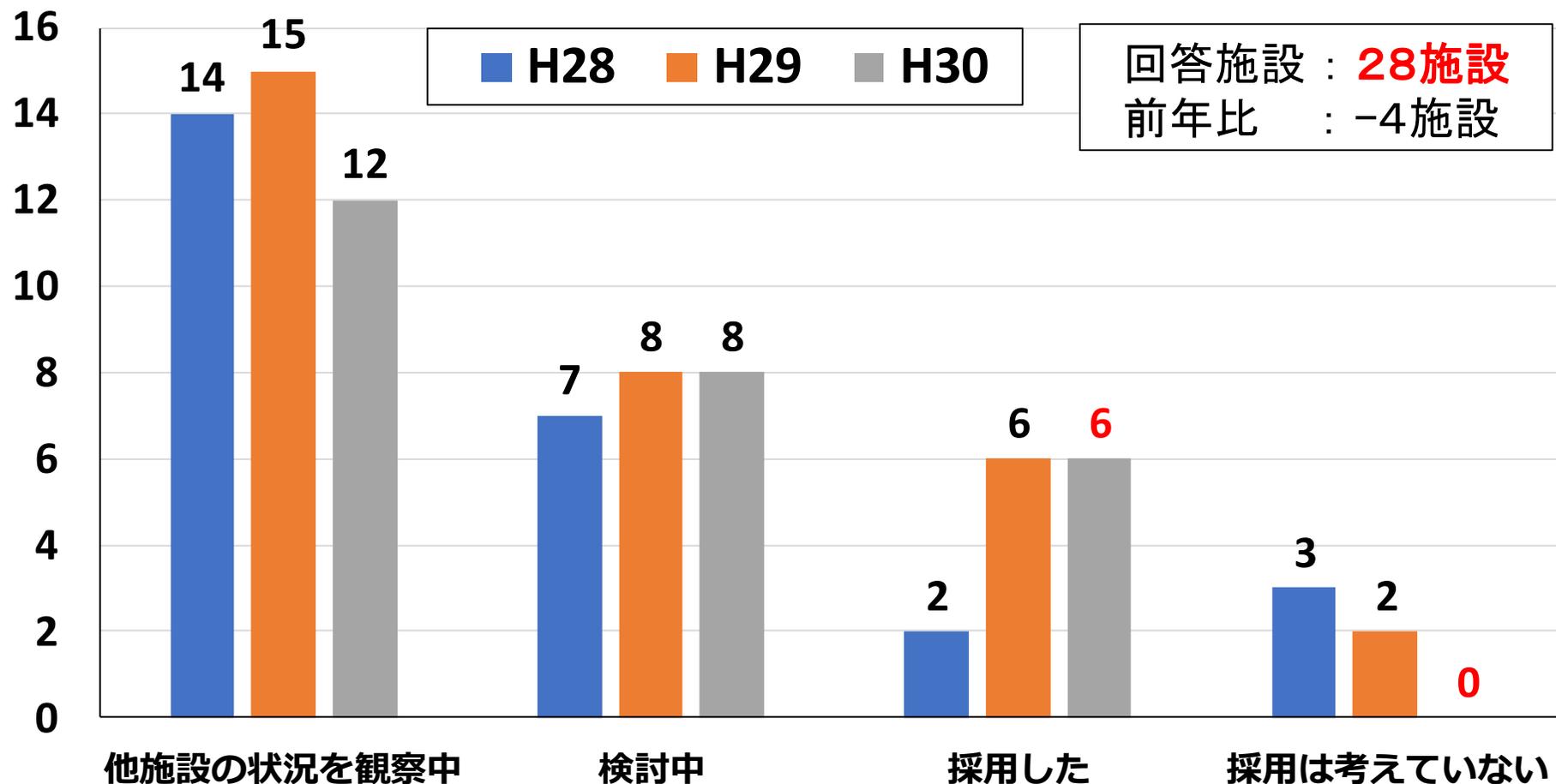
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 2次評価後のC、D件数の推移(部門別)



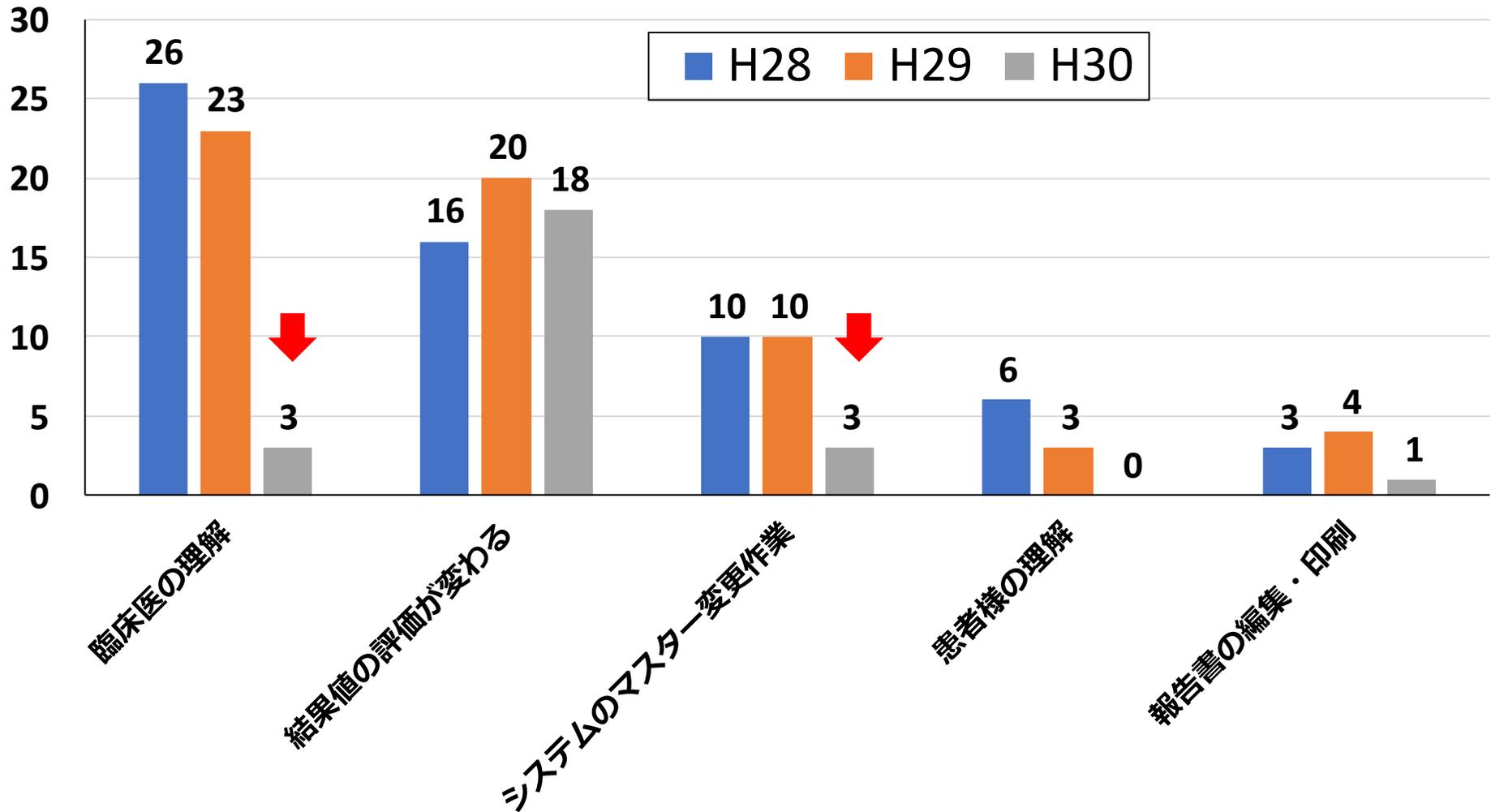
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 共用基準範囲のアンケート調査結果 採用について



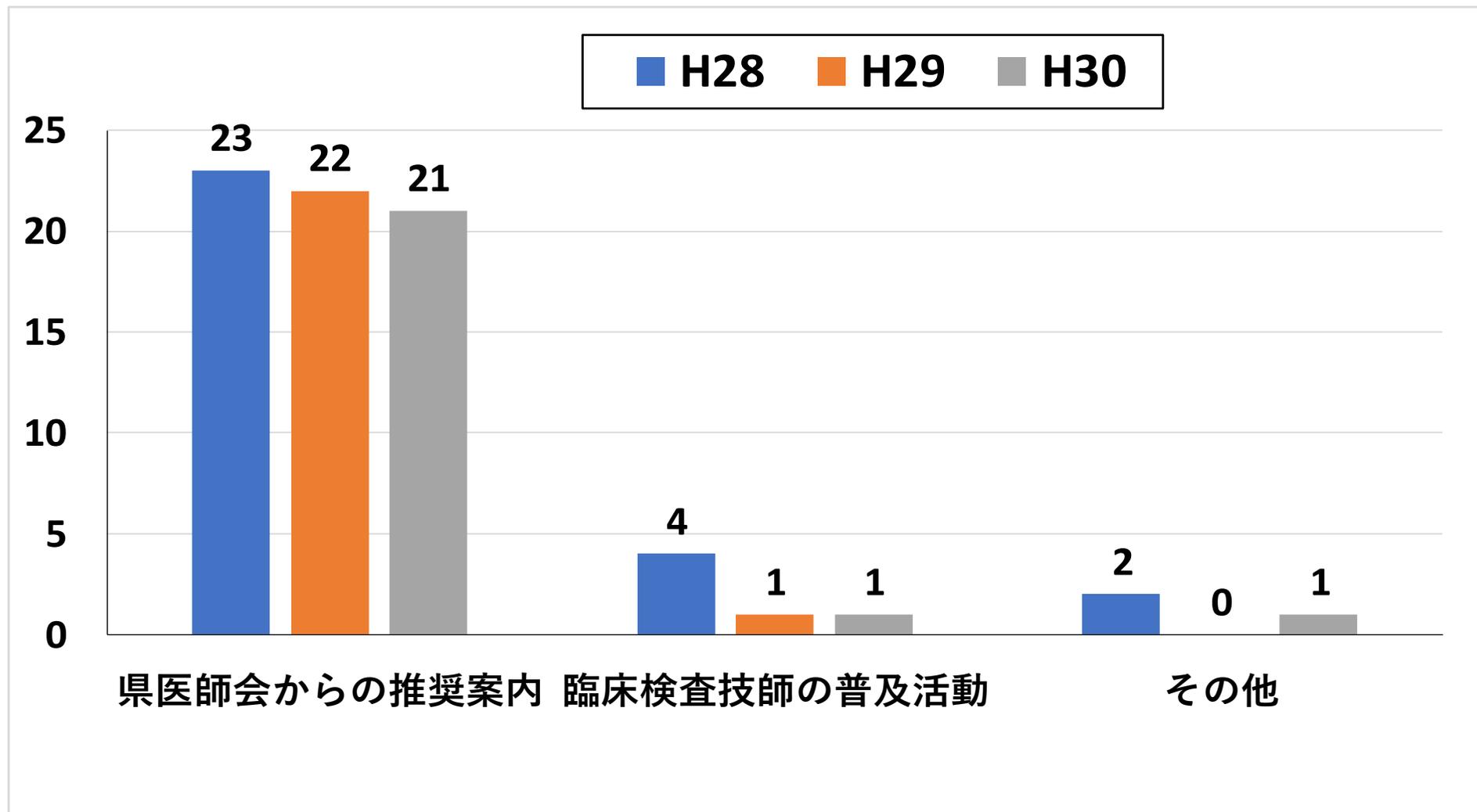
各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 共用基準範囲の採用で障害となる事項は



各研究班精度管理調査結果報告(精度管理総括)

■ 共用基準範囲普及に重要な事は何を考えますか



■ まとめ

1. 参加施設数は、新規医療施設2施設増加してメーカー合計80施設、過去最高の施設数となった。
2. 1次評価でC、Dの施設は46施設であったが、2次サーベイ後の評価では16施設に減少した。また、C、D件数も151件から24件に減少し、検査精度の改善が見られた。
3. 共用基準範囲の採用は、昨年同様6施設、検討中6施設であった。しかし採用の障害は昨年まで「臨床医の理解」と「システムマスター変更作業」が多かったが、今年度は大幅に減少しており、採用の増加が示唆された。
4. 医療法改正に伴い、岐臨技精度管理調査の重要性が高まったと考えられる。